

◆地鎮祭（一般住宅）

今回は地鎮祭に対しての心得と、お施主様との式典にあたっての打ち合わせ事項と、請負業者の注意点などをお話しさせていただきました。今回は式次第に則り説明申し上げます。

1. 手水（てみず）

祭場に入る前に、一般的には参列者は手を洗い身を清めます。

この時に、略式にて手水の前に二人立ち、一人が桶に入れたお水を柄杓に入れて、三回に分けて参列者の両手に注ぎ清めて頂き、もう一人が手拭紙を渡し、濡れた手を拭いていただきます。



手水（てみず）の作法

未来に伝えたい 通算 第17回 日本建築伝統儀式

たごかずのり
田子 和則
田子式規矩法大和流六代目 棟梁



2. 修祓（しゅばつ）

祭事に先立って、神職が行う清めの儀式。
神職が大麻で神籬、神饌、玉串、供え物を祓い、次に参列者を祓います。この時に参列者は軽く頭を下げてお祓いを受けます。



修祓（しゅばつ）



修祓で神職が祓う大麻（おおぬさ）



祭壇の中央奥に設置する神籬（ひもろぎ）

3. 降神の儀（こうしんのぎ）

神職が神籬の前に進み二拝した後「オー」という発声のもと、神籬に神をお迎えする儀式。参列者は軽く頭を下げ神々をお迎えします。

4. 献饌（けんせん）

神前にお供え物をする儀式。瓶子と水玉の蓋を外すことにより神饌を供えます。

5. 祝詞奏上（のりとそうじょう）

齋主が本工事の行われる処を祓い清め、工事の安全を願い、優れた技能を匠たちが発揮し、設計に基づき無事に完成し、施主様の家が末永き幸福と繁栄を得るよう、神様に丁寧な神語にてお願い申し上げます。



祝詞奏上（のりとそうじょう）

施主、設計者、請負業者、その他参列者は祝詞奏上の間、頭を下げて共にお願いします。

6. 切麻散米（きりぬささんまい）

四方払いともいい、神前中央と四隅を祓い清める儀式。



切麻散米(きりぬささんまい)

7. 地鎮（じちん）の儀

地鎮の儀は、菫初の儀、鉦入の儀、穿初の儀、鎮物の儀（下段参照）などから成り、菫初は設計者、鉦入は施主、穿初は請負業者が行います。



菫初（かりぞめ）の儀

10. 昇神（しやうしん）の儀
神様を元の御座にお帰り頂く儀式。

11. 神酒拝戴（しんしゅはいたい）

別の場所で直会を行う場合がありますが、通常は神前にお供えした御神酒を、かわらけで神職のご発声により祭場でいただきます。



穿初（うがちぞめ）の儀

8. 玉串奉奠（たまぐしほうてん）

神前に改めて、神に祈念します。二拝・二拍手・一拝。



玉串奉奠（たまぐしほうてん）

9. 撤饌（てっせん）

お供え物を下げる儀式、神職が水玉と瓶子の蓋を戻します。



鉦入（くわいれ）の儀



神酒拝戴（しんしゅはいたい）

鎮物（しずめもの）について

土地をお守り頂く鎮物は、神職から戴き地鎮の儀の中で鎮物の儀を行います。地方によって異なります、私共では神職より戴いた鎮物を、基礎工事の時に、建物の大極に現場工事責任者により納めさせて頂いております。

鎮物は腐食しない金属で、ミニ

チュアの人型、鏡、小刀、通貨などが納められています。



神職から戴いた鎮物(しずめもの)を施主さんにご説明しています



鎮物（しずめもの）の一例

次回は上棟式について詳しくご説明申し上げます。

上棟式は大工の棟梁が齋主として行うことが多いです。祝い道具についても、棟梁が伝承して来た物を、そのままお伝え致します。